

動かせ
歴史を
心を
運命を
星を。



— 地球の運動について —

プラネタリウム版

©魚豊／小学館／チ。 —地球の運動について—製作委員会

2026年12月27日(日)まで 投影延長

投影スケジュール等は都合により変更になる場合があります。
最新の情報をホームページでご確認ください。

土曜日・日曜日・祝日 (9/20、10/25、11/14、12/5、12/6、12/12、12/13、12/19、12/20 を除く) ・ **冬休み期間：12/25(金) 15:30**

※9月20日は「おもいやりプラネタリウム(チ。—地球の運動について—)」を開催します。

※10月25日は天文講演会、11月14日は県民の日無料公開、12月12日、13日、19日、20日は特別投影のため本番組の投影はありません。

■ 投影時間 約50分(星空の生解説約25分と番組「チ。—地球の運動について—」25分)

■ 料金 プラネタリウム観覧料 一般500円 中学生以下250円 ■ 所在地 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ内

■ TEL 048(262)8431



川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum



世界を揺るがす、禁断の真理に

信念と命を 捧げた者たちがいた

ち。

—地球の運動について—

STORY —あらすじ—

世界を敵に回しても貫きたい美学はあるか？

舞台は15世紀のヨーロッパ某国。飛び級で大学への進学を認められた神童・ラファウ。彼は周囲の期待に応え、当時最も重要とされていた神学を専攻すると宣言。が、以前から熱心に打ち込んでいる天文への情熱は捨てられずにいた。ある日、彼はフベルトという謎めいた学者と出会う。異端思想に基づく禁忌に触れたため拷問を受け、投獄されていたというフベルト。彼が研究していたのは、宇宙に関する衝撃的な「ある仮説」だった——

ち。—地球の運動について—

2020年9月～2022年4月に小学館「週刊ビッグコミックスピリッツ」で連載。15世紀のヨーロッパ某国を舞台に、「地動説」を命懸けで探究する人々を描いたフィクションで、漫画家「魚豊」氏の人気作品。第26回手塚治虫文化賞のマンガ大賞ほか、数々の賞を席卷。単行本の累計発行部数は570万部を突破、2024年10月から2025年3月まで、NHK総合にてアニメが放送された。

キャラクター 紹介



ラファウ

(CV.坂本真綾)

12歳で大学に飛び級入学する天才少年。



フベルト

(CV.速水奨)

「禁じられた研究」で幽閉されていた異端者。



ノヴァク

(CV.津田健次郎)

天動説に反する異端研究者を取り締まる異端審問官。

主題歌「怪獣 / サカナクション」

2005年に活動を開始、2007年にメジャーデビュー。2015年に映画「バクマン。」音楽を担当し、第39回日本アカデミー賞最優秀音楽賞をロックバンドとしては初受賞。2025年にリリースされた楽曲「怪獣」(アニメ『ち。—地球の運動について—』主題歌)は各音楽配信チャート上位を席卷。先進的かつ多様な活動を実現しながらも、常に音楽シーンから高く評価され続けているロックバンドである。

天動説・地動説

かつては、地球は宇宙の中心にあるという「天動説」が信じられていました。しかし、16世紀にコペルニクスが太陽中心の「地動説」を提唱。

ガリレオやケプラーらの研究で支持され、新たな宇宙観として広まりました。



アストラーベ
星の位置を測る
天体観測器